

平成29年度 テレワーク普及促進事業

1 目的

在宅勤務をはじめとする多様な勤務形態の実現に向けた職場環境の整備に必要な取組を行う中小企業等に対し、その取組に係る経費を補助することにより、中小企業等の職場環境の改善を図ることで女性をはじめとする市民の有業率の向上や市民のワーク・ライフ・バランスの向上に寄与することを目的としています。

2 補助対象者

・市内で事業を営む中小企業等(NPO法人、士業法人等を含みます。)

3 補助対象事業

・補助対象者が実施する在宅勤務、モバイル勤務等を可能とする情報通信機器等の導入による多様な勤務形態の実現のための新たな環境整備及び既存環境の拡充を図る取組が対象です。
・在宅勤務にあっては月1日以上、モバイル勤務等にあっては週1日以上取り組むものとします。

4 補助金額

補助対象経費の2/3以内、上限額60万円

5 補助件数

10件
(平成29年度採択案件)
・仕事と生活の調和を支援する取組で、社員が働きやすい職場環境を実現(株式会社Hand Made) ほか9件

6 補助対象経費

本事業実施に係る以下の経費
■ 機器購入費 : パソコン、タブレット等の端末、wifiルーター、webカメラなど
■ システム構築費 : テレワークシステム(勤怠管理システム、ファイル共有システムなど)
構築に係る費用、関連ソフト利用料(テレワークに必要なアプリケーションなど)
■ コンサル委託費 : テレワーク導入支援や就業規則の作成・改定など専門家への相談費・作成手数料など

7 募集期間

平成29年5月22日～12月20日

8 申請の受付・問い合わせ

札幌市経済観光局産業振興部経済企画課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
TEL:011-211-2352 URL:<http://www.city.sapporo.jp/keizai/telework/hojyokin.html>

※平成30年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

株式会社HandMade

テレワークを活用した女性の就業促進

●所在地/札幌市清田区北野7条4丁目11-20
●TEL/011-888-1122 ●FAX/011-888-1123
●代表者/代表取締役 浦谷 幸史
●設立/2002(平成14)年11月 ●従業員数/34名
●URL/<http://www.11shokunin.com/>

「職人工房」という屋号で札幌圏内において住宅リフォーム数No.1の実績を誇る株式会社HandMade。「ライフスタイルメーカー」をモットーにこれまでの建築業界の慣習や常識を打ち破ってきた。多くの職人とタイアップし、年間約2,500件を手掛ける。24時間365日対応といった顧客サービスを実現し、社会に必要とされる企業を目指す。

テレワーク環境を整え、柔軟な働き方を実現 全体の作業効率を高める

受注増から作業量も増加へ

「職人工房」の理念は「どんな事柄も投げ出さず、誠実な気持ちで、元気に行動する」だ。小さな水漏れから大きな増改築工事まで、一つひとつ丁寧に丁寧に対応することがモットー。住まいの悩みを丁寧に対応している。その結果、創業以来、右肩上がり成長してきた。受注件数の高まりとともに仕入れコストを押さえることができ、圧倒的な低価格が顧客の心をつかんでいる。同社への注文は「新聞折込チラシを見て」が9割。独特な手書きPOP風の体裁で目立つチラシは、社内の専属デザイナーが担当。同社のブランドを築いている。

社内の体制は大きく3部門がある。営業と施工と内勤。受注件数が増えると、事務作業も比例するように増加する。内勤者が日々、目先の発注書の入力作業に追われるようになり、中長期的な課題に取り組むことができない状況がつついていた。そこで、テレワークといった在宅勤務の形態を取り入れ、子育てによる短時間勤務のスタッフを自宅で作業できるように環境整備を整え、全体の業務効率を高めるようにした。

3人のテレワーカーがほぼすべての発注書作成を担う

具体的にはパソコンを3台購入。家庭の事情などで出社して作業することが難しいスタッフの家に設置した。在宅勤務のテレワーカー

たちは、PDF化されたエクセル書類を見ながら発注書類を作成していく。同社では現在、年間約6,000枚の発注書の作成がある。この数のほぼすべてを3人のテレワーカーたちが作業を担っている。その結果、内勤者たちの時間外勤務が減った。テレワーク環境を導入することで、出産子育てによって退職した元社員を再雇用することにもつながった。内勤者の事務作業が軽減されたことにより、チラシを折り込んだ当日に「電話が鳴り止まない」状況に対して、電話を取れなかったという失注も少なくなっている。また、顧客の日々の緊急のトラブルにも迅速に対応することが可能となり、会社全体にいい波及効果がうまれている。

業務効率を高めさらなる顧客満足へ

住宅機器メーカーのリキシルが主催する秋のリフォームコンテストにおいて2年連続、全国でNo.1になることができました。お客様の支持を得ることイコール事務作業量も増えることとなります。クラウドを利用したテレワークシステムをより充実させて、在宅勤務者を増やして、全社としてさらに住宅の悩みを抱える人に対応していければと思っています。



経営企画室長
小園 拓志

事務書類はスキャンしてPDF送信する



内勤者の作業風景



LIXIL社によるコンテストの受賞アワード



テレワークするスタッフの環境

